２０２６年３月２日
日本銀行旭川事務所

金　融　経　済　概　況

（2026年2月）

【全体感】

道北地域[1]の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。すなわち、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。観光は、増勢が鈍化している。公共投資は、高水準で推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。この間、雇用情勢は、緩やかに改善している。

【各論】

1．需要項目別動向

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。
主要大型店売上は、底堅い動きとなっている。家電販売は、持ち直している。乗用車販売は、弱めの動きとなっている。観光は、増勢が鈍化している。

公共投資は、高水準で推移している。
公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。
新設住宅着工戸数をみると、持家は弱めの動きとなっている。分譲、貸家は減少している。

2.　業種別生産動向

第一次産業では、生乳は、持ち直している。オホーツク漁業（稚内、枝幸、網走、紋別）の水揚は、減少している。

第二次産業では、製材、紙・パルプいずれも弱めの動きとなっている。

[1] 道北地域とは、上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内のことをいう。

３．雇用・倒産動向

雇用情勢は、緩やかに改善している。

倒産件数は、横ばい圏内の動きとなっている。

以　上

＜本件に関するお問合せ先＞
日本銀行旭川事務所　電話 0166－23－3181
ホームページ　https://www3.boj.or.jp/asahikawa/